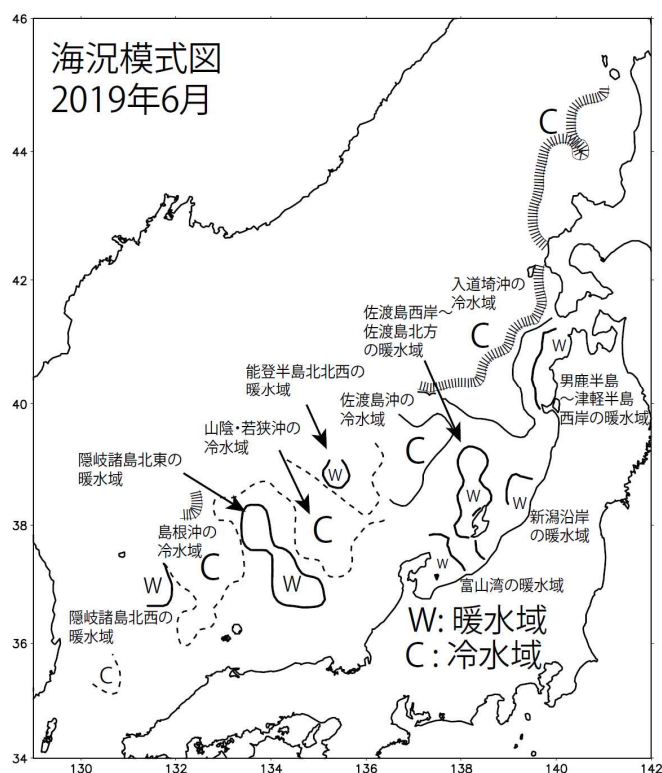


2019年度 第2回 日本海海況予報

ー 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
 日本海区水産研究所がとりまとめた結果 ー

今後の見通し(2019年7月中旬～9月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海西部では“平年並み”、北部では“やや高め”で経過する



2019年7月中旬～9月の海況

- 隠岐諸島北西の暖水域は弱体化しつつ東進し、隠岐諸島北方に分布
- 隠岐諸島北東の暖水域は南下し、隠岐諸島東方に分布
- 能登半島北北西の暖水域は勢力を拡大しつつ東進し、能登半島北方に分布
- 富山湾の暖水域は北東に進み、消滅
- 佐渡島西岸～佐渡島北方の暖水域は北東に進み、山形西方～男鹿半島西方に分布
- 新潟沿岸の暖水域は北上し、消滅
- 男鹿半島～津軽半島西岸の暖水域は弱体化しつつ北上し、消滅
- 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸状況は平年並み
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくかなり離岸
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模は小さくかなり離岸
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 永澤、後藤

資源環境部 渡邊、阿部

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2019年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2019年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐諸島北西の暖水域は弱体化しつつ東進し、隠岐諸島北方に分布する。隠岐諸島北東の暖水域は南下し、隠岐諸島東方に分布する。能登半島北北西の暖水域は勢力を拡大しつつ東進し、能登半島北方に分布する。富山湾の暖水域は北東に進み、消滅する。佐渡島西岸～佐渡島北方の暖水域は北東に進み、山形西方～男鹿半島西方に分布する。新潟沿岸の暖水域は北上し、消滅する。男鹿半島～津軽半島西岸の暖水域は弱体化しつつ北上し、消滅する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく接岸状況は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくかなり離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さくかなり離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“平年並み”、北部では“やや高め”で経過する。

2. 経過（2019年3月～2019年5月）

- (1) 3月に隠岐諸島北西で見られた暖水域は4月以降はデータが少なく確認出来ない。3月に能登半島北西で見られた暖水域は4月にやや東進し、能登半島北西に停滞。3月に能登半島北東で見られた暖水域は4月に北東に進み佐渡島北方～男鹿半島西方の暖水域と合体。3月に佐渡島北方～男鹿半島西方で見られた暖水域は4月に縮小しつつ停滞し、5月に北東に移動して男鹿半島北西に分布。4月に隠岐諸島北北東で見られた暖水域は南下して5月に隠岐諸島北東に分布。4月に富山湾に見られた暖水域は北東に移動し5月に佐渡島西岸に分布。4月に新潟沿岸に見られた暖水域は5月に縮小しつつ北上して山形西方に分布。5月に隠岐諸島北西に暖水域が出現
- (2) 島根沖の冷水域は、3月はやや小さくやや離岸、4月ははなはだ小さくかなり離岸、5月はやや小さくやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、3月は規模、接岸状況とも平年並み、4月はやや小さくやや離岸、5月はかなり小さくやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸状況は平年並み、4月はかなり小さくかなり離岸、5月はやや小さくはなはだ離岸。入道埼沖の冷水域は、3月は規模は平年並みでやや離岸、4月はやや小さくやや離岸、5月は規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
3月は、若狭湾北方、新潟上越沿岸、佐渡島北方で“はなはだ高め”、新潟下越沿岸で“はなはだ低め”、山形沿岸～秋田沿岸で“平年並み”以外は“やや高め”～“かなり高め”。4月は、能登半島西方で“はなはだ高め”、山口北西で“はなはだ低め”、鳥取北方～若狭湾北方、能登半島北方～佐渡島北西、富山湾～新潟沿岸、津軽半島西方～北海道北部沿岸で“平年並み”以外は“やや高め”～“かなり高め”。5月は、秋田沿岸で“はなはだ高め”、山口北方で“かなり高め”以外は平年並み。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、3月は日本海北部及び西部ともに“かなり高め”。

3. 現況（2019年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北西、隠岐諸島北東、能登半島北北西、富山湾、佐渡島西岸～佐渡島北方、新潟沿岸、男鹿半島～津軽半島西岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、やや小さく接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり小さくやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、やや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、規模、接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、能登半島沿岸、新潟沿岸～山形沿岸、秋田西方、北海道北部沿岸で“はなはだ高め”、山口沿岸で“かなり高め”以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“やや高め”、北部では“かなり高め”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所